

奈良県での豚熱発生に係る  
防疫対策連絡会議  
(持ち回り開催)

開催日：令和3年3月31日（水）

出席：知事、危機管理局、  
生活環境部、農林水産部

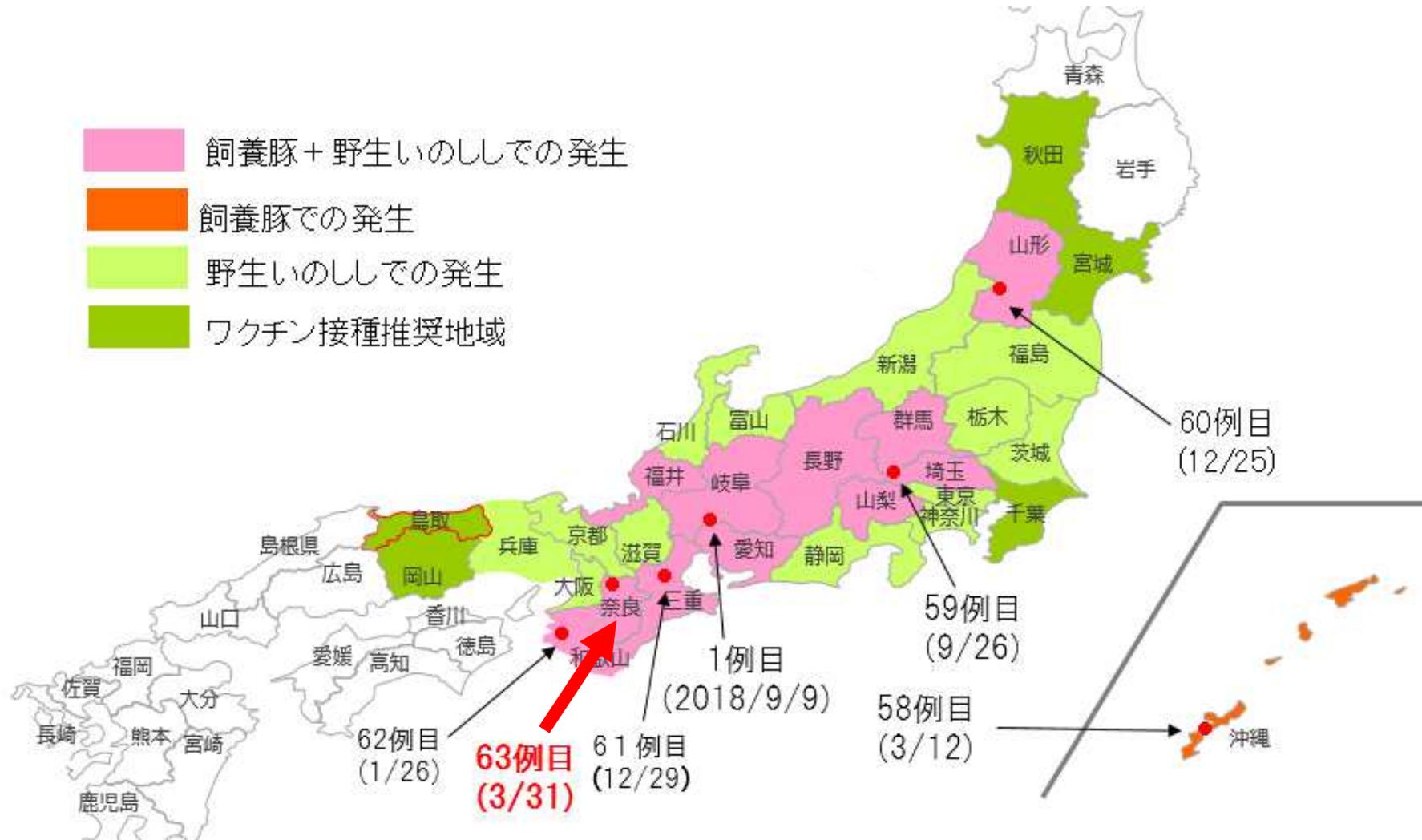
# 会議内容

- 1 国内発生状況
- 2 奈良県発生事例の概要、国の対応状況
- 3 鳥取県の対応状況
- 4 お願い

## 国内発生状況

- 1 平成30年9月9日、岐阜県養豚農場で発生(1例目)し、令和2年9月26日にかけて岐阜県、愛知県、長野県、滋賀県、三重県、福井県及び大阪府内、埼玉県、山梨県、沖縄県、群馬県で発生しており、昨年12月に山形県、三重県で発生。**今回、奈良県の発生は国内63例目。**
- 2 野生いのししの感染は24都府県に拡大しており、西日本では令和3年3月16日に兵庫県丹波市の死亡いのしし2頭で初確認。  
東日本では12月27日には、山形県小国町で確認された。

# 豚熱が確認された都府県



# 豚熱の国内発生状況

## 4 野生いのししでの検出状況(令和3年3月24日現在 農水省調べ) →陽性例は24都府県で確認

県名	陽性確認頭数	検査頭数
山形県	1頭	192頭
福島県	17頭	229頭
茨城県	5頭	1,119頭
栃木県	9頭	667頭
群馬県	111頭	2,140頭
埼玉県	118頭	1,218頭
東京都	8頭	125頭
神奈川県	17頭	852頭
新潟県	35頭	397頭
富山県	80頭	616頭
石川県	47頭	637頭
福井県	119頭	1,278頭

県名	陽性確認頭数	検査頭数
山梨県	69頭	354頭
長野県	263頭	1,114頭
岐阜県	1,209頭	5,379頭
静岡県	302頭	3,664頭
愛知県	139頭	2,463頭
三重県	335頭	3,714頭
滋賀県	250頭	1,220頭
京都府	36頭	276頭
大阪府	7頭	25頭
兵庫県	2頭	110頭
奈良県	24頭	299頭
和歌山県	44頭	389頭
合計	3,247頭	28,447頭

# 奈良県の発生事例の概要

## 1 農場の概要（国内63例目）

場 所：奈良県奈良市

飼養状況：1， 100頭

疫学関連農場：大阪府大阪市 1農場31頭

## 2 概要及び検査結果

- 3月29日（月）農家から死亡豚が増加していると通報  
家畜保健衛生所の遺伝子検査で陽性
- 3月31日（水）農研機構動物衛生研究部門の精密検査で  
患畜であることを確認。

（奈良県は令和3年1月20日から飼養豚へ豚熱のワクチン接種を開始し1月30日に終了）

## 3 対応状況

- 3月30日（火）奈良県特定家畜伝染病防疫対策本部設置
- 3月31日（水）午前2時 防疫措置開始
- ワクチン接種地域のため、移動制限、搬出制限区域は設けない
- 消毒ポイント設置（予定）

# 国の対応状況

## ■ 3月31日(水)

- 農林水産省豚熱、アフリカ豚熱対策本部会議の開催
- 全都道府県へ情報提供
- 飼養衛生管理基準の遵守、早期発見、早期通報徹底を通知
- 奈良県へ国の疫学調査チーム派遣を決定

## ■ 国の野生いのしし対策

- 捕獲強化対策(ワナ増設等)
- 農場への侵入防止対策(侵入防止柵設置支援)、全国の都道府県対象
- 経口ワクチン散布を23都府県で実施

# 鳥取県の対応(1)

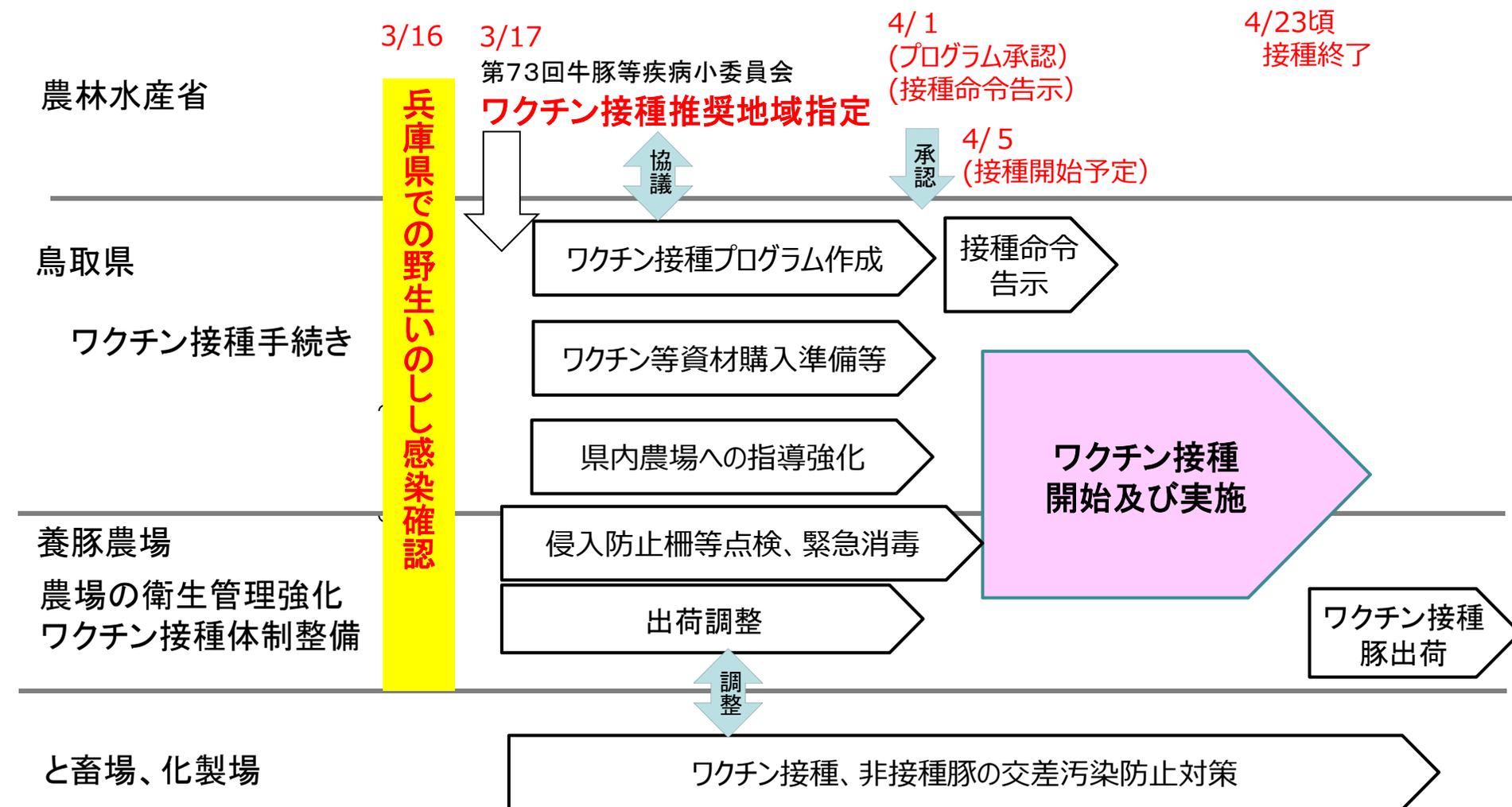
- 1 発生情報の周知(市町村、養豚農場、農協等関係機関)  
(3/31)
- 2 県内養豚農場の状況確認と注意喚起(3/31)
  - ・県内養豚農場(19農場)といのしし農場(1農場)に異常の有無等を電話聞取  
⇒ 異常なし、奈良県の養豚農場との疫学関連無し
- 3 農場の野生いのしし等野生動物の侵入防止策の徹底
  - ・農場出入口への消石灰散布の徹底を指示  
(消石灰1,000袋を3/26までに追加配布済)
  - ・侵入防止柵の点検、長靴の衣服の交換、車両消毒、早期通報等を再度徹底するよう指導

## 鳥取県の対応(2)

- 4 豚熱のワクチン接種推奨地域指定への対応  
4月5日から県内62,000頭へのワクチン接種開始予定
  - ・4月5日からワクチン接種を開始し、4月23日頃接種終了予定
- 5 平成30年9月より野生いのししの検査を実施中
  - ・令和3年3月31日までに県内全域で死亡、捕獲された野生いのしし321頭について全て豚熱陰性を確認。
- 6 野生いのしし対策の強化
  - ・今猟期に捕獲強化を実施(R2年11月~3月)
  - ・県境付近の野生いのししのモニタリングを強化  
(検査頭数 R2年度 200頭→R3年度 300頭に増加)

# 鳥取県での豚熱ワクチン接種の対応について

- 農林水産省が豚熱ワクチン接種推奨地域に設定後、鳥取県豚熱ワクチン接種プログラムを作成し、農林水産省との協議後、家畜伝染病予防法第6条の接種命令によりワクチン接種を開始する。



※野生いのししに対する経口ワクチン散布は、国と協議しながら計画を作成

## (参考) 豚及びいのししの飼養状況

	豚及びいのしし飼養施設 (愛玩、展示施設を含む)	
地域	農場数	頭数
東部	4戸	1,722頭
中部	12戸	13,382頭
西部	12戸	52,798頭
合計	26戸	67,912頭

(令和2年2月1日現在 鳥取県調べ)

# 豚熱対応窓口

(24時間対応しています。)

## ■生産者の皆さんの相談窓口

鳥取家畜保健衛生所	0857-53-2240	(夜間休日は転送)
倉吉家畜保健衛生所	0858-26-3341	(        "        )
西部家畜保健衛生所	0859-62-0140	(        "        )

## ■豚熱に係る死亡いのししに関する通報窓口

畜産課	0857-26-7286	
	090-8061-9109	(休日、夜間)

## ■豚熱に係る野生いのししに関する相談窓口

緑豊かな自然課	0857-26-7979	(夜間休日は守衛に転送)
中部総合事務所生活環境局	0858-23-3149	(        "        )
西部総合事務所生活環境局	0859-31-9320	(夜間休日 0859-34-6211)

## ■平日夜間、休日、祝日相談窓口

県庁受付	0857-26-8663
------	--------------

# お願い

- 豚熱（CSF）は、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。また、感染豚の肉が市場に出回ることはありません。
- 野生いのししの検査状況から、県内に豚熱が浸潤している可能性は低いと考えられます。異常な死亡野生いのししを発見した場合は、県農業振興戦略監畜産課まで連絡し、その指示に従ってください。
- 現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあることなどから厳に慎むよう御協力をお願いいたします。特に報道関係者の皆様におかれましては、養豚農場へ立ち入るような取材は防疫上ご遠慮ください。
- 今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いします。